

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	養老町立笠郷幼稚園		
実 施 期 間	平成25年11月11日(月)～11月19日(火)		
実 施 概 要	・地域交流(公民館活動)体験 ①大正琴観賞会 ②お茶会 ③生け花体験 ・地域を知ろう ④園外保育 ・昔の遊びを教えてください ⑤祖父母参観 ※教育週間中は、自由参観とし、都合のつく家族の方が参観される。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他  公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等  <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	56人	計 73人
	地域関係者	17人	
実 施 状 況	自分達の住んでいる地域(ふるさと)を知り、家族、地域の方と交流できるよう上記のような活動を取り入れた。園だよりで「ふるさと教育週間」について知らせ、期間中は都合のいい日(時間)に保護者の自由参観とした。中でも大正琴観賞会では、演奏を5曲聴き「白い海峡は音がとってもきれいで素敵だった」「大正琴に合わせて、紅葉を歌えてよかった」などと自分の気持ちを伝えることができた。 11台の大正琴がどんな音だったか1人ずつ聞かせてもらい音の違いを知ることができた。夏祭りでは、コントラバスや尺八、和太鼓名人との交流も行ったり、自分達の鼓笛や打楽器演奏をしたりして様々な楽器への関心が高まった。 また、聞くだけでなく大正琴にふれ演奏の仕方を一人ずつ教えてもらうことで地域の方と話したり、手も持って教えてもらったりして、より興味をもって弾く楽しさ、難しさを感じることもできた。 交流会の「楽しさ」「うれしさ」「ありがとうの気持ち」を後日一人一人の方に手紙を書き、公民館まで届け気持ちを伝えることができた。		
成 果 及 び 課 題	・地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人(大正琴の先生など地域の方や家族など)との活動の場を設け、子ども自身がどんなことをするのか見通しをもったり、『幼稚園に来てよかった』と思ってもらえるようなおもてなしを考えたりして、より親しみをもってふれあうことができた。その中で、「上手だよ。」「さすがだね。」など、家族や地域の人の方に褒めていただいたり、愛情(やさしさ)を感じたりして、手紙を書くなどして『ありがとうの気持ち』を相手に伝えることができた。  ・自由参観や交流会の様子や子どもとの会話から、園での活動内容やふるさとを大切にするための教育方針など、保護者や家族の方に理解してもらいよい機会ももてた。また、地域の教育力を生かしふるさとへの愛着を育む活動を通して、『幼稚園教育』を地域にアピールすることもできた。		